

1970/10/25 東京都新人戦 優勝
110mJH 15"8 -



110mJH

決勝 10 台目



1970/11/3 東京都新人戦 優勝



4×100mR

44"1 (安岡、山川、中川、渡部)

1970/11/3 東京都新人戦 優勝

4x100m リレー (安岡、山川、中川、渡部)

44“1



表彰

4x100mR

1970/1971年 高校時代 陸上競技メダル

























火曜日

54.9.5.14 (火)

辛口

裏片

月刊

(第三種郵便物認可)



踏み切るやヒラリ空中一回転

走り幅にも
ウルトラC

【写真】走り幅跳びに毫秒な脚振り跳法。書き足で踏み切るなりスピードを速かせて空中で一回転。旗筋がついでくれば、しりもせもなくって大拍子が生まれる? (小山台高の小柳者)

「走り幅跳び」は、走り幅跳びの競技種目の中でも最も競技性の高いものとされています。走り幅跳びは、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばす競技です。

Q(?) どうして走り幅跳びをするのです?

A(?) 小柳先生の「走り幅跳び」の競技説明によれば、「走り幅跳びをする目的は、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばすことです。走り幅跳びは、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばす競技です。

「合理的」なんだって 見て 小山台高で実験中

「走り幅跳び」の競技説明によれば、「走り幅跳びをする目的は、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばすことです。走り幅跳びは、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばす競技です。

「走り幅跳び」の競技説明によれば、「走り幅跳びをする目的は、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばすことです。走り幅跳びは、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばす競技です。

「走り幅跳び」の競技説明によれば、「走り幅跳びをする目的は、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばすことです。走り幅跳びは、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばす競技です。

「走り幅跳び」の競技説明によれば、「走り幅跳びをする目的は、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばすことです。走り幅跳びは、走りながら跳ぶことによって、跳躍距離を伸ばす競技です。

南関東



▲100m。左から 6着白井正明（中大附）11秒3、4着宮入義明（堀越）11秒2、3着須藤正（相台工）11秒1、5着石塚悟（成田）11秒3、1着森中安範（木更津中央）11秒0、藤川、2着吉田悟（都小山台）11秒1



►三段とび。^{”超高校級”}白井淳一（相台工）が14m70で優勝。400mも49秒4で優勝、幅は白旗に次ぎ7m23で2位
でも怪力ぶりを発揮。47m47で優勝した久力透郎（習志野）円盤投げ



►100mハードル。左から2人目 藤森良文（佐原西谷昌信（中大附）15秒1



2008年会報



2009年会報



2011年会報

